

施策の体系

(8) ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術

- | |
|---------------------|
| ① 伝統文化の保存・継承活動を支援する |
| ② 文化・芸術の振興を支援する |
| ③ 歴史の里づくりを支援する |
| ④ 文化財や歴史資料の調査・保存を行う |

施策の内容

① 伝統文化の保存・継承活動を支援する

地域の結びつきを深めながら、地域に愛着や誇りが持てるよう、学校との連携も図りながら、地域固有の伝統文化である民俗芸能や民俗行事の保存・継承活動を支援します。

② 文化・芸術の振興を支援する

文化・芸術団体の活動を支援するとともに、文化会館を中心施設として、芸術鑑賞の機会の提供や、公共施設の余裕空間なども活用して、文化・芸術発表の場を提供するなど、文化・芸術の振興に努めます。

また、市民の創作活動の場としてのふるさと文化展示館の設置については、既存施設の活用を検討していきます。

③ 歴史の里づくりを支援する

檜山安東氏城館跡については、その整備計画策定に向けた準備を進めるとともに、檜山地域の貴重な史跡や資料を活かした歴史の里づくりを、地域のまちづくり活動と連携しながら、支援します。

また、拠点となる場や機能について検討を進め、その整備に努めます。

④ 文化財や歴史資料の調査・保存を行う

地域に所在する文化財の実態や、埋蔵文化財の詳細を把握するための各種調査を実施し、その保護と活用を努めます。

また、文化財の保存・展示施設の設置については、既存施設の活用を検討していきます。

旧能代市の市史編さんは、見直した発刊計画に基づいて実施します。

効果を高めるための取組・実現したい取組

市 民	○地域の民俗芸能・行事に参加・支援する ○地域の歴史や文化に関心を持って学習する ○貴重な文化財や歴史資料の調査などに協力する
各種団体等 (NPO・大学等含む)	○関係する団体同士が連携を深め、民俗芸能などの指導者と後継者の育成を図り、活動の場を広げる（民俗芸能・行事継承団体、学校等） ○全市的な歴史資源の保存や活用、PRを進める（歴史関係団体等） ○歴史の里づくりのため、地域の歴史の研究や積極的なPR、史跡周辺の環境整備などを行う（歴史関係団体、まちづくり団体等）
事業者等 (生産者等含む)	○歴史の里づくりのため、食事の提供や、食事をとれる場所の確保、特産品の販売などを行う ○地域の民俗芸能・行事に協力する ○文化・芸術の発表に広告掲載などで協賛する
行政機関	○歴史の里づくりを支援する ○文化・芸術活動を支援する ○文化財の保存施設を検討する

政 策 (9)	だれもが気軽に楽しめるスポーツ
---------	-----------------

現状と課題

- 生きがいと生涯スポーツ
社会情勢や生活習慣の変化とともに、スポーツの意義は、競技力・体力の向上や健康の保持・増進だけに限らず、豊かな生活や生きがいをもたらすものでもあり、個人のニーズや能力に応じてスポーツに親しむ、生涯スポーツの振興が求められています。
- 国体開催後のスポーツ振興への効果
平成19年に秋田わか杉国体と秋田わか杉大会が開催され、これに伴う施設整備や選手強化の取組などにより、競技スポーツや生涯スポーツへの効果が期待されます。
- スポーツ団体やスポーツ少年団の状況
生涯スポーツを進める体制として、各競技団体とレクリエーションスポーツ団体の融合を図るために、総合型スポーツクラブの設立や体育協会の組織力強化が必要となっています。小学校部活動の社会体育化に伴い、活動の受け皿であるスポーツ少年団の拡充が進められており、地域における青少年のスポーツ環境や指導者の確保が求められています。
- スポーツイベントの開催
全国制覇58回の偉業を誇る能代工業高校バスケットボール部の活躍により、「バスケの街のしろ」が全国的な知名度を高めています。能代カップやきみまち二ツ井マラソンは、全国に発信できるスポーツイベントとして、まちづくりにも活かしています。
- 体育施設の状況
本市の体育施設には、能代地域と二ツ井地域の各総合体育館のほか、能代地域には、市民体育館、土床体育館、陸上競技場、6つの野球場、3つのテニスコート、B & G海洋センター、市民プール、弓道場、能代山本で運営する能代山本スポーツリゾートセンターアリナスがあり、二ツ井地域には、荷上場体育館、二ツ井球場、二ツ井テニスコート、中山スキー場があります。この中には老朽化が進んでいる施設もあります。管理運営体制の見直しとあわせて、施設配置の見直しを検討する必要があります。
- 全天候型陸上競技場の要望
本市の陸上競技場は、能代山本で唯一の公認競技場ですが、全天候型ではないため、能代市体育協会や能代市陸上競技協会などから、トレーニング環境などの面から競技成績が低迷しているとして、全天候型陸上競技場建設の要望があります。

基本構想でめざす姿や状態

- スポーツを気軽に楽しめ、健康づくりや体力づくり、仲間づくりができること。
- スポーツに取り組める環境があり、競技力が向上すること。
- スポーツイベントなどを通じて、バスケの街として誇りが高まること。

めざす目標指標

指 標	現 状	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標 (平成29年度)	備 考
スポーツに親しんでいる市民 (週一回以上)の割合	43.7% (H19年度)	50.0%	60.0%	市民意識調査
優良競技者・団体表彰数(栄光賞)	134人 (H19年度)	170人	190人	
スポーツ少年団認定指導者数	364人 (H19年度)	450人	維持	
バスケの街を他に誇れると思う 市民の割合	73.6% (H19年度)	75.0%	77.5%	市民意識調査

施策の体系

(9) だれもが気軽に楽しめるスポーツ

- | | |
|---|---------------------|
| ① | スポーツを楽しめる環境を整える |
| ② | 競技スポーツの環境を確保する |
| ③ | 特色あるスポーツのまちづくりを展開する |
| ④ | 効率的で効果的な体育施設にする |

施策の内容

① スポーツを楽しめる環境を整える

生涯スポーツを進めていくため、総合型スポーツクラブの設立支援、学校体育館の開放やスポーツ教室の開催のほか、スポーツ大会の支援やスポーツボランティアの育成を行うなど、スポーツを楽しめる環境を整えます。

② 競技スポーツの環境を確保する

体育協会のNPO法人化なども含めて組織力強化を図るほか、全国大会出場者などへの支援や、スポーツ指導者の養成、スポーツ少年団の育成に努めるなど、競技スポーツの強化を支援します。

また、地域の児童生徒のスポーツ環境を確保するため、火力協力金の活用を前提に、既存の陸上競技場を全天候型に改修します。

③ 特色あるスポーツのまちづくりを展開する

能代カップやきみまち二ツ井マラソンをはじめとするスポーツイベントへの支援や、バスケの街づくりのイベントを企画するなど、特色あるスポーツのまちづくりを展開します。

④ 効率的で効果的な体育施設にする

能代地域と二ツ井地域の各総合体育館を拠点施設として位置づけ、各体育施設の管理運営体制の見直しを進めながら、効率的で効果的な施設の活用を図ります。

また、一定の役割を終えたと思われる施設は、管理移管や譲渡、廃止などの検討を進めます。

効果を高めるための取組・実現したい取組

市 民	○スポーツに親しむことを心がける ○スポーツに関して持っている知識や技能を生かす活動をする ○バスケの街として、訪れる選手・観客を温かく迎える
各種団体等 (NPO・大学等含む)	○市民の力を活用し、初心者でも参加しやすいスポーツクラブの育成や事業の開催などを行う（体育協会、スポーツ団体、NPO団体等） ○スポーツの指導者やコーディネーターが自主研修する（体育協会、スポーツ団体等） ○バスケの街として、チームの育成や大会の開催、競技の普及啓発などを行う（体育協会、バスケットボール協会等）
事業者等 (生産者等含む)	○バスケの街を推進するため、グッズを開発・販売する ○スポーツイベントに対する協賛などの支援を行う ○バスケの街として、チームの育成や大会開催の支援などを行う
行政機関	○スポーツ関係団体と連携して、組織づくりや人材育成を進める ○既存スポーツ施設の利活用を検討する ○バスケの街づくりの市民活動を支援する

政 策 (10)	認め合い支え合う社会づくり
----------	---------------

現状と課題

○ 男女共同参画の意識

市民の男女共同参画の意識は変わりつつありますが、市民意識調査の結果では、女性が役職などの就任依頼をされた場合、引き受ける人よりも断る人の割合が高いなど、行動に結びつくところまでは進んでいない状況にあります。市では、性別にかかわらず、お互いを認め合い、協力しながら、各分野において個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画計画を策定しています。

○ 在住外国人との交流

本市では、在住外国人が増加しており、その多くが市民として地域で生活しています。在住外国人を地域住民として受け入れ、隣人として、それぞれの背景にある文化を認め合いながら、自然に交流していくことが求められます。

○ 人権擁護委員・保護司の活動

人権擁護委員、保護司は、法務大臣から委嘱されます。人権擁護委員は、地域における人権相談などの活動に取り組んでおり、子どもをめぐる人権問題については、子ども人権専門委員を配置し、いじめ、体罰、不登校などにも対応しています。保護司は、更生支援や青少年の非行防止、社会を明るくする運動などに取り組んでいます。

○ 非核平和都市宣言

合併前の能代市、二ツ井町では、それぞれ非核平和都市宣言がなされていました。合併後も改めて、市民がともに歩む新たな道しるべとして、あらゆる国の、あらゆる核兵器の廃絶を全世界に強く訴え、この地球上から争いをなくし、人々が等しく平和に手をつなぎ合う世界の実現を目指すことを宣言しています。

基本構想でめざす姿や状態

- 性別や国籍などにかかわらず、一人ひとりの個性や能力を発揮できること。
- 人権意識や平和意識が浸透すること。

めざす目標指標

指 標	現 状	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標 (平成29年度)	備 考
一人ひとりの個性や能力を発揮できる地域になっていると思う市民の割合	8.5% (H19年度)	20.0%	30.0%	市民意識調査

施策の体系

(10) 認め合い支え合う社会づくり

- | |
|----------------|
| ① 男女共同参画意識を広める |
| ② 国際理解を広める |
| ③ 人権意識や平和意識を守る |

施策の内容

① 男女共同参画意識を広める

男女共同参画計画に基づき、男女共同参画社会を実現するための啓発活動や、各種委員会などに女性が参画しやすい環境づくり、また、各分野において男女共同参画の視点を持って施策展開を図るなど、男女共同参画の意識を広めていきます。

② 国際理解を広める

在住外国人への日本語を通じたふれあい交流や、情報提供を行うなど、国際理解を広めていきます。

③ 人権意識や平和意識を守る

人権擁護や社会秩序のための活動を支援し、また、戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えるなど、人権意識や平和意識を守っていきます。

効果を高めるための取組・実現したい取組

市 民	○男女共同参画に関する講座への参加などを通じて、意識を高め、実践する ○ライフスタイルに応じて、職場と家庭のバランスがとれる働き方、暮らし方をする ○外国人も隣人であるという意識を持ち、地域の行事やイベントなどに誘い、交流を図る
各種団体等 (NPO・大学等含む)	○女性の起業を支援する（商工会議所・商工会等） ○日本語の学習会などを通じて、市民に異文化の理解を広める（ボランティア団体等） ○人権意識などの浸透のため、関係する団体同士が連携して情報交換を行う（人権擁護委員、保護司、民生委員・児童委員等）
事業者等 (生産者等含む)	○性別・国籍を問わず働きやすい環境づくりに取り組む ○職場と家庭のバランスがとれる働き方ができる職場づくりに取り組む ○男女共同参画社会づくりに関する研修会などを実施する
行政機関	○男女共同参画の視点を持って施策展開を図る ○市民の男女共同参画意識を高めるよう啓発活動をする ○女性の起業を支援する